

(仮称) 中央区こども計画 (第三期中央区子ども・子育て支援事業計画)

第4章 (方向性ごとの取組内容) の構成について

1 第二期計画との変更点

(1) 目標達成の目安となる指標 (KPI) の設定

計画の方向性ごとの達成状況を測るため、新たに目標達成の目安となる指標 (KPI) を設定する。

<指標として活用する資料>

- 「子育て支援に関するニーズ調査 (就学前・小学生児童保護者)」【令和5年度実施】
- 「ひとり親家庭実態調査」【令和5年度実施】
- 「計画策定に向けた子ども向けアンケート (小・中・高校生世代)」【令和6年度実施】
- 保育所待機児童数
- 学童クラブ待機児童数

<計画への記載の例 (方向性1)>

【目標達成の目安となる指標 (KPI)】

指標	現状値	目標値
自分のことが好きだと思う子どもの割合 (※1) 【子どもへのアンケート】	小学生 : 63.9% 中学生 : 58.2% 高校生世代 : 62.9% (令和6 (2024) 年度)	小学生 : 70.0%以上 中学生 : 70.0%以上 高校生世代 : 70.0%以上 (令和10 (2028) 年度)
子どもの権利を知らない子どもの割合 【子どもへのアンケート】	小学生 : 15.1% 中学生 : 35.1% 高校生世代 : 26.5% (令和6 (2024) 年度)	小学生 : 12.1%以下 中学生 : 28.0%以下 高校生世代 : 21.2%以下 (令和10 (2028) 年度)
困っていることや悩んでいることがあるときに話を聞いてくれる人がいる子どもの割合 (※2) 【子どもへのアンケート】	小学生 : 78.9% 中学生 : 76.9% 高校生世代 : 75.5% (令和6 (2024) 年度)	小学生 : 86.7%以上 中学生 : 84.6%以上 高校生世代 : 83.0%以上 (令和10 (2028) 年度)
地域のお祭りやイベントなどに行くのが好きな子どもの割合 【子どもへのアンケート】	小学生 : 58.5% 中学生 : 59.0% 高校生世代 : 59.7% (令和6 (2024) 年度)	小学生 : 64.4%以上 中学生 : 65.0%以上 高校生世代 : 65.7%以上 (令和10 (2028) 年度)

※1 こども大綱上の数値目標 : 「「今の自分が好きだ」と思うこども・若者の割合 (自己肯定感の高さ)」

<目標値:70%>

※2 こども大綱上の数値目標 : 「どこかに助けてくれる人がいる」と思うこども・若者の割合」

<目標値:97.1%>

(2) 重点事業の設定

<現計画>

基本施策に紐づく各事業について、現況、最終年度目標を設定

<変更後>

基本施策ごとに、子ども・子育て支援法上で、地域子ども・子育て支援事業に位置付けられる事業及び「現況と課題」並びに「取組の方向性」等から方向性の実現に向け、重点的に実施すべき事業を、「重点事業」として設定する。「重点事業」について、現況（令和5年度実績）を記入するとともに、最終年度（令和11年度）目標を設定し、毎年進捗管理を行うものとする。

※地域子ども・子育て支援事業については、「第五章 子ども・子育て支援事業計画」で最終年度目標を設定する（第三回子ども・子育て会議で検討）。

それ以外の各基本施策に関連する事業等を、「主な事業等」として事業名、事業内容を掲載する。

<計画への記載の例>

【重点事業・主な事業等】

重点事業		
事業名	事業内容	
主権者教育	よりよい社会の実現に向け、国家・社会の形成に主体的に参画しようとする力を育成する教育を推進しています。	
担当課	現況（令和5年度実績）	最終年度（令和11年度）目標
指導室	・主体的に考え、行動するための取組の推進 ・小学校社会科および中学校社会科公民的分野における主権者教育の実施 ・中学校における生徒会役員選挙の実施	・子どもたちが政治や行政の仕組みを学び、主体的に考え、行動するための取組を通して、社会参画への意識を高める取組を充実させます。

主な事業等		
事業名	内容	担当課
人権教育推進委員会	「人権教育推進委員会」を設置し、学校・幼稚園・地域の実態に即して人権教育推進上の課題を議論するとともに、教育内容・方法の充実を図るための研究・協議を行っています。	指導室

2 方向性ごとの目標達成の目安となる指標（KPI）及び基本施策ごとの重点事業・主な事業

資料2-2のとおり